

**日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
GEWEX 小委員会 第 25 期第 5 回会合 議事要旨**

日時：令和 5 年 9 月 26 日（火） 15:00-16:30

会場：遠隔会議（Zoom）

（主催会場：東大大気海洋研究所気候システム研究系高藪研究室（柏キャンパス））

出席委員：沖 大幹, 高藪 縁委員長, 沖 理子, 荻野 慎也, 梶川 義幸, 佐藤 友徳, 高橋 洋,
高谷 祐平幹事, 田中 賢治, 仲江川 敏之, 増永 浩彦副委員長, 松本 淳副委員長, 森 修一,
山田 朋人, 芳村 圭（出席委員数 15 名, 名簿順、定足数以上で成立）

欠席委員：鼎 信次郎幹事, 金 炯俊, 重 尚一, 大楽 浩司, 寺尾 徹, 樋口 篤志, 米山 邦夫
（欠席委員数 7 名）

傍聴者：学術会議事務局 藤田 崇志、北大 岡地 寛季

議事進行：松本 淳副委員長

議題：

1. 議事要旨および会議の録音の取り扱いについて
2. GEWEX 国際会議について
3. 第 26 期に向けて
4. AsiaPEX について
5. その他

配布資料：

資料 1: GEWEX 小委員会第 4 回会合議事要旨

資料 2: 第 1 回アドバイザー会議資料

資料 3: AsiaPEX サイエンスプランと GEWEX-OSC に向けた最近の取り組みについて

議事録:

1. 議事要旨の取り扱いについて：松本副委員長

議事録の最終的な取りまとめを委員長、副委員長、幹事に一任することに合意した。また、会議の録音について合意した。本会合の議事要旨、発表資料は学術会議に配布資料として提出することに合意した。

2. GEWEX 国際会議について：山田委員、佐藤委員

(1) 第 9 回 GEWEX Open Science Conference (OSC) 準備の状況

山田委員 (9th GEWEX-OSC 札幌実行委員長)、佐藤委員より、2024 年 7 月の GEWEX 国際会議開催に向けた準備状況について説明が行われた。以下に要点を記す。

- ・ 9 月 14 日 第 1 回札幌実行委員会 (運営組織) を開催した。
山田委員が委員長、佐藤委員が副委員長、沖大幹委員、鉾田妙子氏がアドバイザーを務める。
- ・ 本日 (9 月 26 日) 午前中に第 1 回アドバイザー会議を開催した。
規約 (配付資料参照) の承認、会議の趣旨、コンセプトペーパーの説明を行った。説明内容について山田委員より報告があった。
 - ・ テーマは「水・気候: Water Climate」、ロゴの決定、トピック案等について説明があった (詳細は配付資料を参照)
 - ・ 日程案、収入・収支案について説明があった。
 - ・ 学生の積極的な運営への参加、土木学会、JpGU、水資源学会等の協力について発言があった。
 - ・ 佐藤委員より特集号案の説明と意見照会があった。現在、HRL、PEPS、SOLA、JMSJ 各誌で GEWEX-OSC 特集号を検討中との説明があり、案の大筋について参加委員の賛同が得られた。

(質疑) 以下のような質疑応答、意見表明があった。

- ・ 特集号については、雑誌の編集委員との作業分担が可能であり札幌実行委員会の追加負担は要しない。SOLA と JMSJ は合同特集号という形が可能。
- ・ 各雑誌間で統合的に GEWEX OSC 特集号としてまとめると良い。分野間のつながりができることも良い。
- ・ 投稿システム的に難しいかもしれないが、OSC 会議ホームページにて特集号のページで紹介するような形が有効と思われる。
- ・ 若手参加の研究支援のため、水文水資源学会において参加支援を行うことを検討中。
- ・ セッション時間配分について、GEWEX 国際プロジェクトオフィスとの調整状況については如何？
- ・ 国内からの特別セッション枠は、GEWEX プロジェクトオフィスからの提案の半分程度。

・セッションと招待講演者の候補の選定も進みつつある(現在案では 50 セッション程度)。現在の全体セッションの割合は並列セッションに対して多い印象があるため、今後柔軟に調整をしていくのが良いであろう。

・省庁系特別セッションが目立つように見える。内容・セッション枠の時間の検討状況についてはどのようなになるか？

・内容については担当省庁にて検討される。科学的な内容も含まれる。セッション枠の時間については、追って検討の余地あり。

・特別セッションは海外に向けての情報発信となるのか？

・実務的な内容については日本語、研究は英語のものもあるかもしれない。全ての特別セッションに通訳を入れるよう検討している。

・セッション構成について、GEWEX パネルメンバーから助言を受けている。AsiaPEX のセッションについても検討中。ムーンショット、SIP、先端プログラムなどのセッションも検討している。それ以外にもあれば、ご意見をいただきたい。

・GEWEX の通常セッションにおいて、(日本の) プロジェクトの紹介をした方がアピールになるのではないか？

・国内と国外の参加者が別々にならないよう工夫していきたい。

・招待者リストが通常のアブストラクト登録より早めに決まっていると、参加が増えるのではないかと。

・現在、GEWEX プロジェクトオフィスの方で検討が進められている。日本の組織委員会からも招待講演者の提案を行なっていきたい。

3. 26 期に向けて：高菽委員長

沖大幹委員（日本学術会議委員）より、第 26 期は学術会議内部委員会の継続可否については、活動実態に照らした見直しがかかる予定であるとの情報提供があった。GEWEX 小委員会は GEWEX-OSC に向けた重要性を鑑み、存続の必要性を訴えるべきとの意見で一致。なお、委員長は学術会議会員または連携会員から選定する必要があり、今後速やかに選定のうえ高菽委員長より小委員会継続申請を提出することとした。

4. AsiaPEX について：寺尾委員（欠席）提出資料を松本副委員長が説明

9 月 20 日に AsiaPEX のサイエンスプランを GEWEX に提出（現在、査読中）。今後、パネルの組織作り、GEWEX-OSC のセッション提案を進めていく予定。AsiaPEX Conference を 2025 年に実施予定。2026-2028 年に集中観測期間を予定。

5. その他：高菽委員長

今会合が本期の最後の会合となる。委員の皆様のご尽力に感謝する。今後とも本委員会が招致活動を立ち上げた 2024 年 7 月の GEWEX-OSC の開催に向けて協力をお願いしたい。